



MBT NEWS LETTER

第390号
'26/03/23

3月19日（木）、MBTコンソーシアム理事会をハイブリッドで開催 2026年度事業計画と予算計画を審議



↑対面とWEBで実施の理事会の様子

←議長を務めた細井裕司理事長

- ・一般社団法人MBTコンソーシアムは、定款37条に則って、細井裕司理事長の招集のもと、3月19日（木）10時より、2025年度第4回理事会をハイブリッド形式で開催し、4名の理事が対面で、4名の理事がWEBで、2名の理事が議決権行使書の提出で参加し、2026年度の事業計画と予算計画を審議しました。
- ・審議の結果、下表に示す計画が決議されました。詳細は後日ホームページで紹介します。
- ・細井裕司理事長は2026年度のMBTコンソーシアムの発展に向け、
 - 1) 年5万円の会費で、奈良医大のすべての医学知識がふんだんに活用できるメリットが企業に伝わっていない、広報の更なる工夫で会員企業を増やし社会に貢献しよう
 - 2) 奈良医大は、4月から3人のAI専門家を招いて講座を開設し、医科の単科大学ながらAI活用のトップ大学を目指す。AI活用を希望する会員企業も参加できるコンソーシアム活動をと挨拶されました。

2026年度事業計画

1. 産業創生・新製品開発活動

- 1-1. 会員企業の医学相談
- 1-2. 奈良医大シーズの事業発掘活動
- 1-3. 奈良医大と会員企業の研究開発活動支援
- 1-4. MBTロゴマーク付与活動
- 1-5. 奈良医大発スタートアップ起業伴走支援
- 1-6. 産業創生関連活動



2. 医学の知識に基づくまちづくり

⇒ライフスタイルセンシングまちづくり

3. 社会貢献活動

⇒MBT難病克服キャンペーンの実施（WEBセミナー、映画祭、など）

4. その他（広報活動等）

⇒イベント開催、展示会への参加、印刷物・HP・SNS等

*8部会の活動計画

1	産学官連携・フリーディスカッション部会	奈良医大と会員間のニーズ・シーズ マッチング 活動で産業創生、新製品開発を目指す
2	抗老化部会	サプリメント、食品、抗老化機器等、関連企業との連携テーマ発掘
3	通信部会	新たな通信、オンライン診療、薬剤提供手段を活用し災害時医療対策を模索
4	スマートコミュニティ部会	先進事例の基礎知識の醸成や施設見学会実施
5	医療福祉環境におけるアート研究部会	医療・福祉施設や企業等でのアート導入実証を進める
6	MBT研究所 産学連携部会	電力センサー活用ライフスタイルセンシングとAI分析で地域実証実験を拡大
7	難病支援部会	苦境にある難病患者支援に、WEBセミナー、短編映画祭を開催
8	在宅遠隔医療部会	在宅サポート研究の活動支援や在宅医療目的に開発された在宅評価支援

2026年度収支計画

収入計画（単位：千円）		支出計画（単位：千円）	
繰越金	9,500	広告宣伝費	650
会費収入	7,000	事業活動費	8,100
連携活動費	3,925	事業運営費	4,540
雑収入	250	次年度繰越金	7,385
合計	20,675	合計	20,675

発行

（一般社団法人）MBTコンソーシアム、（公立大学法人）奈良県立医科大学
奈良県橿原市四条町840番地研究推進課内 担当 塩山

TEL：0744-29-8853（直通）、FAX：050-3164-5598、Email：mbt@mbt.or.jp